

令和6年度小松市立日末小学校 学校評価 1 (計画)

めざす児童生徒像

進んで学ぶ子 主体的に学び、思考過程を伝え合い、学びを深める子 (思考過程の視覚化)
 仲よく助け合う子 仲間と関わり合いながら、互いのよさを認め合い高め合える子 (集団づくり)
 明るく元気な子 自分の健康や命を大切に、何事にも根気よくチャレンジする子 (心身の育成)

※児童生徒結果-教員結果-保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
(学校で設定)	認め合い、高め合う集団の実現 学級活動・児童会活動	児童アンケート③の結果を90%以上にする	① 学級や学校がより良くなるように考えて行動していますか						
			② 学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか						
			③ 学級目標を意識して活動しましたか						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
石川県共通 業務の改善 働き方	働き方	教職員アンケートを100%にする	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	すべて100%にする	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			集計							
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	④について教員・児童アンケートの結果90%以上にする	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達との考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
	集計									
学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②のアンケート結果 中間・・・85%以上 年度末・・・90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。							
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。							
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。							
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)							
			集計							
家庭学習	①「家で計画を立てて勉強している」②「家庭学習で学習用端末を活用する」80%以上にする。	① 家で計画を立てて勉強するように指導している。								
		② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。								
		集計								